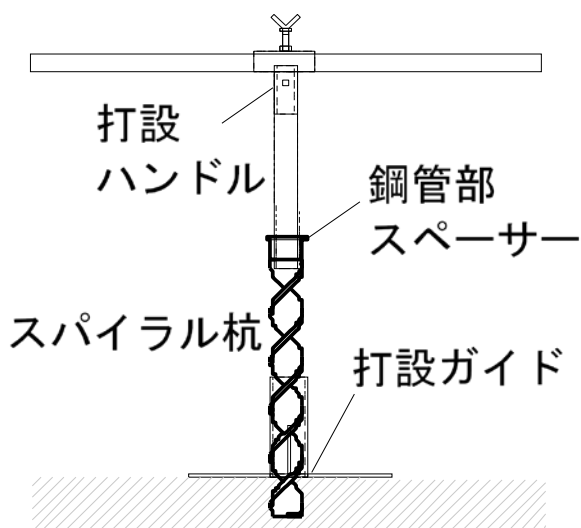


1. 農地・施設の復旧・整備技術情報

省力施工が可能な基礎杭を利用した 園芸用ハウス補強技術

1. 骨組み構造の重量が一般建築物より軽い園芸用ハウスは、見かけ上平成28年熊本地震による倒壊などの被害は小さいものの、地盤が緩くなり基礎部の耐風性が低下している可能性があります。本資料では、台風シーズンを前に速やかに園芸用ハウスの補強を行う技術を紹介します。
2. 既設ハウスのパイプ地際や基礎部に、根太パイプを取り付けて、それに後付けでスパイラル杭をクランプ等で接合することにより、横風に対する耐風性を向上させることができます。
3. 軟弱地盤でも適切に施工することで強度を確保できます。施工位置を足で踏み固める程度で十分です。
4. 奥行き15mのハウスで3m間隔に杭を設置する場合のコストは約4万円です。



スパイラル杭の打設方法と既設ハウス補強

参考文献

1) 超省エネ・高強度な次世代型パイプハウス施工マニュアル：
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/046016.html

2) スパイラル杭：<https://www.gt-spiral.com> (【外部リンク】(株)GTスパイラルのウェブサイト)

問い合わせ先: 農研機構 西日本農業研究センター 084-923-4105